

平成21年度  
第36期

事業報告書  
決算報告書

自 平成21年1月1日  
至 平成21年12月31日

東京都中央区八丁堀2-13-4第3長岡ビル5階  
財団法人 岩谷直治記念財団

# 目 次

I	事業報告	1
	事業概況と実績	1
	累計事業実績	2
	1. 岩谷科学技術研究助成金	4
	2. 岩谷直治記念賞	6
	3. 国際交流	6
	4. 人材育成	8
	5. 広報活動	9
	6. 収 支	9
II	主要事業日程	10
III	決算報告	11
	1. 貸借対照表	11
	2. 正味財産増減計算書	12
	3. 財務諸表に対する注記	14
	4. 財産目録	16
	5. 収支計算書	17

# I 事業報告

## 事業概況と実績

当財団は科学技術に関する研究開発の助成および奨励、国際交流の推進のための援助並びに人材の育成を行なうことにより、科学技術全般の一層の発展を図るとともにあわせて表現芸術等の育成のための援助を行い、もって国民福祉の向上および国際的な相互理解の促進に寄与することを目的としております。その達成のために平成21年度においては、つぎの事業を実施いたしました。

### 1. 科学技術に関する研究開発の助成

岩谷科学技術研究助成金	18件	3,515万円
-------------	-----	---------

### 2. ガスおよびエネルギー分野における成果の表彰

岩谷直治記念賞	該当なし
---------	------

### 3. 国際交流の推進

①岩谷国際留学生研究助成金	9名	1,920万円
---------------	----	---------

②国際研究交流助成	6名	263万円
-----------	----	-------

### 4. 人材育成

表現芸術育成	1件	500万円
--------	----	-------

表 - 1

## 累計事業実績

(単位：万円)

回	年度	研究助成金		記念賞		留学助成金		国際交流		人材育成	
		件数	金額	件数	金額	人数	金額	件数	金額	件数	金額
1	昭和49年度	15	3,630	1	100						
2	昭和50年度	15	3,450	2	200	6	312				
3	昭和51年度	13	3,000	0	0	5	318				
4	昭和52年度	13	3,100	1	100	5	354				
5	昭和53年度	13	3,550	1	100	7	414	3	82		
6	昭和54年度	12	3,000	1	100	5	391	1	50		
7	昭和55年度	13	3,000	2	200	7	514	4	387		
8	昭和56年度	13	3,000	1	100	12	866	6	376		
9	昭和57年度	12	3,000	1	100	10	876	2	94		
10	昭和58年度	13	3,000	0	0	9	837	8	756		
11	昭和59年度	15	3,070	1	100	12	1,026	6	410		
12	昭和60年度	14	2,870	0	0	11	1,173	3	270		
13	昭和61年度	15	3,000	1	100	11	1,182	2	245		
14	昭和62年度	15	3,080	0	0	12	1,380	4	100	1	1,000
15	昭和63年度	17	3,400	2	200	11	1,240	3	100	1	1,000
16	平成元年度	17	3,230	0	0	13	1,470	9	340	1	1,000
17	平成2年度	15	3,000	2	400	13	1,447	4	167	1	1,000
18	平成3年度	16	3,100	1	200	10	1,250	5	284	1	1,000
19	平成4年度	16	3,160	1	200	10	1,210	13	741	2	1,100
20	平成5年度	19	3,600	1	200	11	1,755	9	384	2	1,050
21	平成6年度	19	3,600	0	0	13	2,115	7	483	2	1,050
22	平成7年度	19	3,800	0	0	12	2,100	12	431	3	1,070
23	平成8年度	18	3,600	2	600	12	2,025	6	230	3	1,070
24	平成9年度	20	3,600	1	300	11	1,980	7	275	3	1,220
25	平成10年度	19	3,600	2	600	11	2,025	5	372	3	1,300
26	平成11年度	18	3,600	1	300	11	1,980	8	332	4	1,331
27	平成12年度	18	3,600	1	300	11	2,025	7	282	4	1,200
28	平成13年度	19	3,600	1	300	11	1,950	10	784	3	1,250
29	平成14年度	19	3,600	1	300	11	1,920	6	220	2	1,100
30	平成15年度	18	3,600	1	300	11	1,935	7	240	2	1,065

回	年 度	研究助成金		記念賞		留学助成金		国際交流		人材育成	
		件 数	金 額	件数	金 額	人数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
31	平成16年度	17	2,550	1	300	7	1,440	5	155	1	500
32	平成17年度	17	2,452	1	300	7	1,305	0	0	1	500
33	平成18年度	19	3,614	2	600	8	1,530	5	230	1	500
34	平成19年度	18	3,504	1	300	10	1,755	6	230	1	500
35	平成20年度	18	3,579	1	300	9	1,785	8	380	1	500
36	平成21年度	18	3,515	0	0	9	1,920	6	263	1	500
	累 計	585	118,654	35	7,200	344	47,805	187	9,693	44	21,806

累計額 205,158 万円

## 1. 岩谷科学技術研究助成金

### ①助成対象

資源、エネルギーおよび環境（太陽エネルギー、水素エネルギー、低温とその利用なども含む）などに関する重要かつ独創的な研究。

②助成金総額 3,515万円 18件

③推薦期間 平成21年6月1日～平成21年7月31日

### ④推薦依頼先

国立大	59	私立大	39	公立大	7	高専	2	計	107
-----	----	-----	----	-----	---	----	---	---	-----

⑤推薦件数 121件（前年度 120件）

### ⑥選考経過と結果

#### a. 第1回選考委員会（10/5）

選考方法は昨年度と同じく、1テーマについて2名の選考委員審査とした。

担当するテーマは選考委員の希望に基づいて決定。採点は5点法とした。

本年度の応募件数は121件を数えたため、1人当りの審査件数は22～29件。

#### b. 書類審査

担当するテーマを審査し、担当テーマのうち5点は10%（2～3件）、4点は

20%（5～6件）を選び、審査内容を添付の上選考委員長に提出。

#### c. 第2回選考委員会（11/5）

各委員から提出された審査報告をもとに、2選考委員の合計点が9点以上の案件を推薦。 ついで合計点が8点のものについて総合的な検討を重ね、助成候補として計18件が推薦された。

### ⑦決定

選考委員会推薦の18件を第62回評議員会に諮り承認後、理事長が別表18件を助成対象に決定した。

表－２ 第36回(平成21年度)岩谷科学技術研究助成金受領者

	大 学 (所 属)	研究者名 (職 名)	研 究 ・ 開 発 テ ー マ	助成金額 (千円)
1	大阪府立大学 大学院工学研究科	准教授 芦田 淳	全水溶液プロセスによる無機薄膜太陽電池の開発	2,000
2	大阪府立大学 大学院工学研究科	教授 足立 元明	スピンコーティング法による燃料電池製造に用いるナノ粒子の合成技術開発	2,000
3	名古屋大学 ICBIT科学研究所	准教授 一野 祐亮	エピタキシャル薄膜成長技術を用いたフレキシブルな分散型熱電変換素子の開発	2,000
4	京都大学 大学院工学研究科	准教授 宇田 哲也	水蒸気分解用電極の性能評価と長期安定性	2,000
5	九州大学 大学院農学研究院	教授 大島 敏久	廃棄生物資源を燃料とする酵素電池の開発	2,000
6	三重大学 大学院工学研究科	助教 大西 拓	ペロブスカイト型遷移金属酸化物を用いた固体酸化物型燃料電池(SOFC)の新規酸化物イオン伝導体の材料設計	1,500
7	北見工業大学 工学部電気電子工学科	教授 小原 伸哉	数値気象情報を用いた太陽光発電を伴うSOFC-PEFC複合マイクロリットの運用最適化アルゴリズム	1,742
8	京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科	准教授 北川 石英	微細気泡と波状多孔板複合利用による太陽熱温水器内自然対流の相乗的促進	2,000
9	東京工業大学 大学院理工学研究科	准教授 桑田 繁樹	ヒドロゲナーゼ様水素酸化機能をもつ新規多核錯体触媒の開発	2,000
10	京都大学 ICBIT-理工学研究所	准教授 小瀧 努	環境汚染バイオマスを資源としたバイオ燃料の開発	2,000
11	京都大学 大学院工学研究科	准教授 穴戸 哲也	硫酸を代替可能な新規ニオブ、タンタル系セラミックス固体酸触媒の開発	2,000
12	東北大学 多元物質科学研究所	准教授 関野 徹	高効率次世代エネルギー創製システムを指向した低次元酸化物半導体ナチューブの構造・機能チューニング	2,000
13	名古屋大学 ICBIT科学研究所	准教授 竹内 恒博	超格子構造による熱伝導度低減機構の解明とそれを利用した高性能熱電材料の開発	1,906
14	山形大学 大学院理工学研究科	助教 幕田 寿典	超音波利用型マイクロバブル発生装置の開発と汚染有害物質分解への応用	2,000
15	東北大学 多元物質科学研究所	助教 松井 淳	界面場を用いた新規有機薄膜太陽電池作製	2,000
16	長岡技術科学大学 工学部機械系	准教授 宮下 幸雄	マグネシウム合金製軽量小型風車の試作とその安全性評価	2,000
17	名古屋工業大学 大学院工学研究科	准教授 安井 晋示	半導体産業排出ガスからのフッ素の乾式再資源化処理技術開発	2,000
18	京都府立大学 生命環境科学研究科	教授 渡部 邦彦	未利用タンパク質資源活用のための好熱菌を用いたリサイクルバイオテクノロジーの開発	2,000

計 35,148

## 2. 岩谷直治記念賞

開発業績の主題は、従来どおり「エネルギー及び環境」分野での新しい資源化技術、効果的な利用技術および環境・安全に関する研究開発を対象とし、関連学・協会及び関係団体に6月1日から8月31日にかけて推薦を依頼いたしましたところ、2件の推薦がありました。

第2回選考委員会(11/5)において最終審査の結果、提案された2件はいずれも記念賞に値しないとして、選考委員会からの推薦はありませんでした。

本結果については第62回評議員会に諮り、平成21年度は記念賞該当案件なしとして承認されました。

## 3. 国際交流

### ①第35回(平成21年度)岩谷国際留学生研究助成金

#### a. 採用概況(応募期間:20.12.1~20.12.20)

応募総数401名(前年363名)のうち、書類審査・面接により表-4の9名を決定しました。

#### b. 交流活動

留学生との親睦を図るため、次の例会を開催しました。

第1回(4/17)鉄鋼会館会議室に於けるオリエンテーション、第2回(7/17)国立科学博物館、NHKスタジオパーク見学、第3回(9/17~19)京都・奈良・三重への研修旅行、第4回(11/19、20)研究発表会(鉄鋼会館)、有明水素ステーション・科学未来館・浜離宮恩賜庭園見学、第5回(3/8)贈呈式招待・最終例会予定。



表－4 第35回(平成21年度)岩谷国際留学生研究助成金受領者一覧

No	氏 名	国 籍	大学・専攻	課 程	備 考
1	崔 井 圭 男 CHOI Jeong Kyu 30才	韓 国	東京都市大学 建 築 学	博 3	
2	ジ ョ ン リ ン イ 男 JUNG Sung Yi 23才	韓 国	千 葉 大 学 人工システム科学	修 2	
3	宗 雯 女 ZONG Wen 27才	中 国	中 央 大 学 情 報 工 学	修 2	
4	徐 鳴 鎬 女 XU Ming Di 26才	中 国	九 州 大 学 システム生命科学	博 2	
5	楊 欣 潔 女 YANG Hsin Chieh 27才	台 湾	東 京 大 学 建 築 学	博 1,2	10月入 学
6	カ-ン ホ テイウイラットナ-ン 男 KARN Potewiratnanond 24才	タ イ	国 際 大 学 M B A	修 1,2	H21年 6月迄
7	ルザ フリザ ビンティ モハマト アリフィン 女 NORZA FRIZA Binti Mohd Arriffin 25才	マ レ ー シ ア	広 島 大 学 物質学システム	修 2	
8	ツェヘンゲ- エンクザヤ 女 TSEVENGEE Enkhzaya 29才	モ ン ゴ ル	千 葉 大 学 地球生命圏学	博 4	
9	キ- ソアポアン 女 KHY Sophoin 28才	カ ン ボ ジ ア	筑 波 大 学 コンピ ュ-タサイエンス	博 4	

②その他の国際交流

a. 国際会議関係 (4件)

助成テーマ	助成先	助成金額(円)
第10回スパッタリングおよびプラズマプロセスに関する国際シンポジウム	同組織委員会 委員長 菊地 直人	500,000
多目的森林管理に関する国際研究集会	同組織委員会 委員長 山本 博一	500,000
第11回国際有機化学京都会議	同組織委員会 委員長 吉田 潤一	500,000
第9回アジアパシフィック生物化学工学会議	同実行委員会 代表 長棟 輝行	500,000

b. 海外国際会議関係 (2件)

助成テーマ	助成先	助成金額(円)
第3回 安全とセキュリティ技術に関する国際会議	中央大学 研究開発機構 客員研究員 藤川 真樹	280,000
アジア太平洋地域技術教育国際会議2009	熊本大学 准教授 楊 萍	350,000

4. 人材育成

表現芸術関係 (1件)

助成テーマ	助成先	助成金額(円)
第78回日本音楽コンクール	同委員会 委員長 野田 輝行	5,000,000

## 5. 情報活動

財団機関誌「needs」 vol.35 (2009)

「研究報告書」 vol.32 (2009)

を発刊

## 6. 収 支

当期収入は、予算額10,318万円に対し決算額は10,346万円で、28万円増となりましたが、これは雑収入に見込み減があったものの、基本財産および特定資産の利息収入が当初見込み額に較べ多かったことに因るものです。

事業活動支出のうち、事業費支出については7,570万円の予算に対し、決算額は7,404万円と166万円減となりました。これは、留学生研究助成費支出に増加があったものの、記念賞が見送られたことおよび贈呈式関係費支出が大幅に減額されたことに因るものです。次に管理費支出は、予算額2,175万円に対し決算額は1,571万円と604万円減になりましたが、これは、理事会費支出・評議員会費支出および諸謝費支出が当初の見込み額に対して大幅減になったことが主な要因になっています。したがって、事業活動収支差額は573万円の予算に対して1,371万円となりました。

また、その他の支出につきましては、長期借入金返済に600万円を充て、特別積立金に100万円、退職給付引当金に20万円を繰入れました。

したがって次期繰越収支差額は、当期収支差額6,506,983円に前期繰越収支差額20,886,873円を加えて、合計27,393,856円となりました。

以上の通り、平成21年度の収支を要約しご報告致します。

## Ⅱ 主要事業日誌

年月日	内 容
21. 2. 18	岩谷国際留学生研究助成候補者面接選考（20名）
・ 3. 9	第72回理事会、第61回評議員会 ・ 第35期(平成20年度)事業報告及び収支決算報告承認 ・ 第36回(平成21年度)岩谷科学技術研究助成選考課題承認 第35回(平成20年度)記念賞及び研究助成金贈呈式
・ 3. 15	平成21年度岩谷国際留学生研究助成金受領者決定（9名）
・ 6. 1	第36回(平成21年度)岩谷直治記念賞候補者推薦依頼 第36回(平成21年度)岩谷科学技術研究助成候補者推薦依頼
・ 6. 20	臨時理事会（書面表決） ・ 株主議決権の行使承認
・ 7. 31	科学技術研究助成候補者推薦締切（121件）
・ 8. 1	研究報告書(Vol.32)発刊 財団機関誌「needs」(Vol.35)発刊
・ 8. 31	記念賞候補案件推薦締切（2件）
・ 9. 29	臨時理事会・評議員会 ・ 公益法人制度改革検討委員会設置
・ 10. 5	第1回選考委員会（研究助成）
・ 11. 5	第2回選考委員会（研究助成・記念賞）
・ 11. 26	第73回理事会、第62回評議員会 ・ 平成22年度事業計画及び収支予算承認の件 ・ 第36回(平成21年度)記念賞（0件）・助成案件（18件）決定
・ 12. 1	第36回(平成22年度)岩谷国際留学生候補者募集開始
・ 12. 20	第36回(平成22年度)岩谷国際留学生候補者募集締切（441名）